

認め 励まし 褒め

一人ひとりの学力を 伸ばす教育

「主体的・対話的で深い学び」を通して

1 児童生徒の学力向上



2 教員の指導力向上



3 非認知能力の向上



富士見市教育大綱

富士見市教育振興基本計画

富士見市の学力向上策

富士見市の主な学力向上策

「基本目標 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成」
～ **認め 励まし 褒め 一人ひとりの学力を伸ばす教育** ～
富士見市立学校がめざす授業 「主体的・対話的で深い学び」

I 児童・生徒の学力向上に向けた施策

- 1 2学期授業5日間拡大 「8月25日から2学期が始まる」※授業時数の増加
- 2 県学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査 結果・分析・方策
・埼玉県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の結果に基づく検証改善サイクルの確立を図り、各校の課題解決に向けた支援を行い、児童生徒一人ひとりの学力の向上を図っている。

(1) 検証改善サイクル

- ①埼玉県学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果から実態の把握を行う。(資料1、2)
- ②その調査結果や実態から、明らかになった成果と課題をもとに、各学校及び市教委で、明確な課題と目標を設定する。
- ③各学校では、課題解決に向けた改善策を設定し、計画を策定する。
その際、指導主事は各学校を訪問し、課題や対応策の策定に向け指導助言を行い、ともに学力向上に努める。
市教委としても、ホームページで実態・課題・改善策及び富士見市立学校のめざす授業を公表する。(資料3)
- ④各学校で、一年を通して、実践していく。
実践例：授業で繰り返し行うことを設定し毎時間行う、学校研究や授業研究を行う、少人数指導を行う、支援員を活用する、補習授業、家庭学習、など
- ⑤授業研究等を行いながら、その都度、評価、改善していく。
- ⑥次年度 学力・学習状況調査を実施する。
- ⑦このように、PDCAのサイクルで実践していく。

(2) 学力で大きな伸びを示した学校・学級の公開授業・研究協議の実施、 県の冊子に掲載 (資料4)

- ①西部教育事務所管内 小学校1校選出 (全県で小学校4校・中学校4校)
【概要】 「算数：下位層の学力が大きく伸びている。」
「国語：中位層・下位層の学力の伸びが大きい。」
【公開授業】 小学校2校 授業・研究協議 (発表・シンポジウム)
・学力向上わくわく大作戦
・誰もが「わかった」「できた」と実感できる授業づくり

3 学力向上プロジェクトチーム

①メンバー：校長1人 小：3人、中：3人、学校教育課指導主事

・市内の学力の状況分析や課題解決のための方策を話し合う会議を実施し、「主体的・対話的で深い学び」からの授業改善等、市内の学校へ最新の教育情報や具体的な取組についての情報発信を行う。必要に応じて、学力向上のための授業研究会の実施も検討する。

※各学校においても、学力向上推進委員会を設置し取り組んでいる。

②国語・算数・数学・体育・富士見スタンダード 教師用手引き作成・活用

③5 days チャレンジ

・H26：作成 ・H27～：活用

家庭での学習習慣・生活習慣の改善を目指した取組、5日間、家庭で話し合い、家庭学習の時間、ゲームの時間、就寝時刻等を定めて実施。

4 少人数指導や習熟度別学習の充実

県費負担：加配教員の活用

5 基礎学力定着支援員（学習面の支援にあたる）

・配置：市内全小学校（11校）に各1名配置 計11名

・勤務：年205日（1日5時間）

6 中学校学習支援員（学習面の支援にあたる）

・配置：市内全中学校（6校）に各1名配置 計6名

・勤務：年205日（1日5時間）

7 すこやか支援員（主に特別な配慮を要する児童への支援にあたる）

・配置：市内全小学校（11校）に40名配置 計40名

・勤務：年205日（1日6時間）

8 ふれあい相談員（中学生の相談にのる、主に中学校の相談室にいる）

・配置：市内全中学校（6校）に各2名配置 計12名

・勤務：年205日（1日4時間）

9 理科支援員配置

小学校 各校1名

配置回数 342回（児童数、学級数に応じて、各校年間30～33回）

10 補習授業協力者

・夏季及び冬季休業日、放課後等に、地域の人材、学生ボランティアを活用し補充的な学習支援を行い、基礎・基本の定着を図る。

【事業概要】

・1校当たり年間25回

・主な内容：算数・数学、漢字の学習、補習 等

1.1 実技指導協力者

豊かな情操や感性をはぐくむための音楽や図画工作、生涯にわたって運動に親しむための体力や技能の向上を目指した体育、自立した生活を送るために必要な家庭科等の学習指導の充実を図る。

- ・対象校：小学校 11校
- ・1校当たり年間70時間

1.2 英語教育指導助手（AET）

- ・配置：各中学校区に1人 6名（H30年8人 小学校外国語科に備え）
英語担当教員とともに、授業を行う。

1.3 イングリッシュ・サマー・キャンプ

（目的）

英語を学び始めた小学5年生が、日本語に頼らず英語だけで活動することを通して、英語を用いたコミュニケーション能力を育成する。

主な活動内容

- 1日目：アイスブレイキング
（会話練習やミニゲーム、疑似体験などを通して楽しみながら活動する）
- 2日目：クッキング
（ピザやクッキーを英語での指示のみで作る）
- 3日目：アクティビティー
（会話練習やミニゲーム、クイズなどを通して楽しみながら活動する）

1.4 家庭学習応援事業（民間との連携）

小学校5年生：土曜日2時間30分 小学生サタデースクール 60人
中学生3年生：週2回90分×2 中学生イブニングスクール 60人
針コミ・水谷公・鶴コミ

1.5 読書活動の充実

- ・学校司書を全校に配置
- ・学校図書館の整備・充実を図り、児童生徒の読書に対する興味関心を高めるとともに、司書教諭・学校図書館担当教諭・学校司書、学校応援団等が連携し、読書活動を推進。
- ・H30. 4月 中央図書館

Ⅱ 教職員の指導力向上を図り、児童生徒の学力向上を目指す取組

15 学校研究の取組（各校の研究内容）

（1）県義務教育指導課との連携による授業改善研修

平成29年度、県教育局義務教育指導課との連携し、聖心女子大学・埼玉大学の教授を講師とした「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング・国語・算数・数学・英語）をめざした授業改善研修を実施している。

（2）H29年度 課題研究委嘱校

学 校 名	研究領域
南畑小学校	小中学校の連携（算数）県・市
東中学校	小中学校の連携（数学）県・市
関沢小学校	考え、話し合い、学び合う学習（全般）県・市
西中学校	考え、話し合い、学び合う学習（全般）県・市

（3）H29年度 学校研究委嘱校

学 校 名	研究領域
鶴瀬小学校	特別活動
水谷小学校	算 数
南畑小学校	特別活動
勝瀬小学校	国 語
水谷東小学校	国 語
諏訪小学校	国語・算数
みずほ台小学校	道 徳
針ヶ谷小学校	国語・算数・道徳
つるせ台小学校	体 育（県）
特別支援学校	特別支援教育

（4）グループ研究・個人研究委嘱

- ・年間を通し、グループや個人でテーマを定め研究を行う。
- ・優れた実践の発表会実施（H29）

（5）小中連携教育：各中学校区による研修会

（6）教育委員会学校指導訪問 各校へ（西部教育事務所との連携）

16 英語指導カブラッシュアップ研修

(目的)

高学年での英語の教科化を見据え、英語の教員免許状を所持しない小学校教員に教科としての英語指導力を身につけさせる。

小学校教員の英語指導力を向上させることは児童の英語力・学習意欲を向上させ、学力向上にもつながる。

17 実技スキルアップ研修：実技教科の指導研修（水泳）

18 教員指導力向上研修会【主体的・対話的で深い学び(アクティヴ・ラーニング)】

【平成29年度】より実施

(目的)

平成32年度の学習指導要領改訂に向け、平成29年度から32年度の4年間、毎年講師を招聘し、全教員を対象に「主体的・対話的で深い学び」となる授業を展開できるように、教員指導力向上研修を行っている。

19 若手教員育成指導員

【平成29年度】より実施

(目的)

新規採用2年目から5年目までの教員（経験の浅い臨時的任用教員を含む）を対象に、若手教員育成指導員を配置し、その授業力と学級経営の向上を図ることで、小学生の学力向上を目指す。

(1) 配置

各小学校：1～2名 1日7.5時間 年間180日

(2) 勤務内容

- ・授業について指導案の作成、展開の組み立て、授業規律等、授業に参加し具体的実例を示しながら指導・支援する。
- ・授業参観をし、若手教員に指導、助言を行う。
- ・学級経営に関する指導、助言
- ・若手教員の疑問や悩みなどについて相談にのり、若手教員を支える。

Ⅲ 人間関係づくりを通じた学力向上に寄与する取組

2 0 県義務教育指導課との連携による非認知能力と学力の相関関係に関する研究

※非認知能力とは = 意欲、自尊心、社会性等

2 1 ピア・サポート事業

(1) 趣旨

「子ども同士の支え合いや学び合いの場」を設定し、児童生徒相互の人間関係を豊かにするための思いやり、支え合う実践活動 ～思いやりの心が行動に表れるように～

・子どもの対人関係能力や自己表現能力等、社会で生き抜くための力が不足している現状を改善するため、各学校の実情に応じてピア・サポートを踏まえた子ども同士の学び合いの場を設定し、相互の人間関係を豊かにするための思いやり支え合う実践活動を推進し、児童生徒がお互いに助け合い、支え合う学校風土づくりを市内全校に広めるため。

(2) 概要

平成27年度から30年度までの全体活動計画

①年度ごとの指定校

H27：富士見台中学校区4校（鶴瀬小・諏訪小・つるせ台小）

H28：本郷中・水谷中学校区5校（水谷小・水谷東小・みずほ台小）

H29：勝瀬中・東中校区5校（勝瀬小・南畑小・ふじみ野小）

H30：西中学校区3校（関沢小・針ヶ谷小）

2 2 特別支援教育の充実

(1) 通級指導教室の開設

・発達障がい・情緒障がい通級指導教室

小学校「エル」「ACE」・中学校「せせらぎ」

・難聴・言語障がい通級指導教室

小学校「あいりす」「あいりす☆ふじみ野」

※在籍校及び家庭との連携を密にし、通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒への適切な指導・支援を図る。

2 3 教育相談の充実

(1) 適応指導教室

・あすなる 講師2名配置